

MICRO IR

text&amp;photo:RM / 取材協力:コナミ株式会社

DIGI Q TRAIN  
デジQトレイン™

デジQトレイン

実物

キハ183系 in キハ183系

# 「鉄道百景スタンプラリーツアーで コナミデジQトレインが大人気」



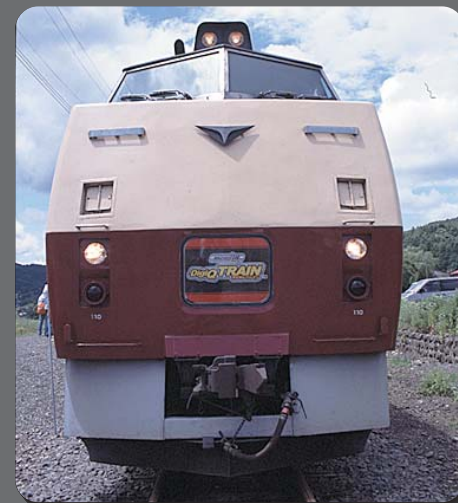
© 2002 KONAMI

コンパクトながらリアルな外観、卓越したコントロール機能、そしてディープな車種選定で発売以来話題の尽きないコナミ・マイクロIRデジQトレイン™（以下デジQトレイン）。去る6月21日より3日間の日程で実施されたJR北海道主催「鉄道百景スタンプラリーツアー第4弾」にはコナミのスタッフが同行し、デジQトレインのデモンストレーション販売や車輛先頭に特製ヘッドマークを付けて撮影会などが行われた。このツアーは旧国鉄色のキハ183系で道内各地を巡るもの。デジQトレインの第2弾車輛ラインナップには件のキハ183系が含まれており、実車の晴れ舞台に華を添えたのである。参加者にも大好評を博したデジQトレイン・オン・ツアーの模様をお届けする。

函館駅で国鉄色キハ183系とSL函館大沼号が並んだ！

今回で4回目、そして最終回となるJR北海道主催「旧国鉄色・キハ183系特急形気動車で巡る鉄道百景スタンプラリーツアー」は、去る6月21日から23日にかけて行われた。札幌を起点に函館、大沼公園、流山温泉などの各所を巡る行程で、雄大な沿線風景と、名車キハ183系の乗り心地、そして初夏の北海道の空気をたっぷり楽しもうというツアーなのである。しかも今回は車内でデジQトレインの面白さを満喫できるという一大特典なのだ。

主役であるキハ183系は1979(昭和54)年に試作車が登場した道内特急用気動車。前例のない先頭部形状が話題となった。時代と土地の個性を色濃く感じさせる名車と言える。ツアーに使用されるのは昨年秋に国鉄色に復元された函館運転所所属の4輛編成で、主に函館～札幌間の臨時快速 ミッドナイト として運用されている車輛だ。キハ183-1+キハ182-1+キハ182-2+キハ183-2のモクラス編成である。いずれも1981(昭和56)年製造の第1次量産車で、今日までよく原形を保つ



ている。今回のツアーでも車齢を感じさせない力強い走りっぷりを見せてくれた。

そしてもう一つの主役がデジQトレイン。車内の一角にデモンストレーションコーナーを設け、プロジェクターを使用したプロモーション映像の公開や、製品の販売、キハ183系を含む予定品の先行予約の受け付けなどを行った。極め付けは約タタミ1帖分の大きさのシーナリー付レイアウトで、デジQトレインの運転をたっぷり楽しめるというわけだ。実物のキハ183系の車内でデジQトレインのキハ183系が走るという楽しい光景が見られたのも印象的だった。このコーナーは大人気で、ともすればダレがちな行程途中の大きな楽しみとなっていた。マイクロIRシステムを使用して、手もとのコントローラーの操作によって複雑な運転を楽しめるデジQトレインは、簡単には飽きさせない内容を持っている。それだけにじっくりと時間をかけてこそ楽しめる。複雑な配線や調整、電源も不要である上コンパクトなので場所を選ばず(そう、走る列車内でも!)存





デジQ列車特製ヘッドマークを取付中。



車内にデジQ列車専門店が出現。



デジQ列車の楽しさを満喫できるデモコーナー。



キハ40とのツーショット。気動車天国の光景。



デモコーナーはトップナンバーに設けられた。



やっぱりキハ183系には国鉄色がよく似合う！

分に楽しめるのだ。同行した開発担当者と熱心なファンが話し込む場面も見られ、車内はちょっとしたデジQ列車合宿の様相を呈したのである。

ツアー途中駅ではそれぞれに雄大な風景をバックに車輛撮影会が行われた。走行中は北海道の形をあしらったデザインのヘッドマークを掲げていたキハ183だが、撮影会では おおぞら 北斗 利尻 など往年の道内特急の列車マークを表示させるファンサービスが行われた。ここで登場したのが「デジQ列車」特製ヘッドマーク。おなじみのロゴと赤/黒のシンボルカラーを配したマークを掲げたキハ183系は、さながら突如出現した実物大デジQ列車のよう！ 4輛編成なのでなおさらその感が強かった。こちらでもまたツアー参加者の間で大人気となったのである。

ツアー2日目、函館駅においてはデジQ列車マークを付けたキハ183系と SL函館大沼号 と仲良く並ぶシーンも見られ、ファンを喜ばせた。鉄路の名優同士の顔合わせに参加者のみならずホームに居合わせた人たちの視線が集中。キハ183系にとって、またデジQ列車にとっても晴れがましい一時だった。

実物&デジQ列車の魅力堪能した3日間。9月に発売予定のデジQ列車第2弾車輛ラインナップにはキハ183系のほか、700系新幹線、205系山手線、253系成田エクスプレスが含まれている。待ち遠しい！！



#### 8月29日発売予定

ストレートレール66mm(4本)	400円
ストレートレール44mm(6本)	400円
クロスレール88mm-90 (2本)	400円
カーブレールR220-45 (4本)	400円
カーブレールR264-30 (6本)	400円
合流レール 198mm 左 (2本)	450円
合流レール 198mm 右 (2本)	450円

#### 新幹線700系



JR東海・西日本承認済

#### 205系(山手線)



JR東日本商品化承認済

#### 253系(成田エクスプレス)



JR東日本商品化承認済

#### キハ183系



## デジQ列車 今後のリリース予定

現在第1弾ラインナップとして車輛4種と基本レール関係が中心に発売中だが、気になる今後の予定はどうなっているだろうか？

まず8月にはレール製品が一挙に充実。新たに大半径のカーブレールが2種、全長の短い直線レール2種、複線分岐レール、クロスレールなどが発売され、複雑なレイアウトも可能になる。高度なコントロール機能を誇るデジQ列車が、いよいよ本領を発揮する時が来たと言えるだろう。

そして9月には待望の第2弾車輛が登場。相変わらずツボを押さえた車種選定で泣かせる。サンプルの段階でも実物の特徴をがっちりとり入れた造形の確かさは十分に発揮されており、期待は高まる。たとえばキハ183系は個性的な前頭部フォルムの再現はもちろん、2輛の中間車はキハ182とキハ182を作り分け、特徴的なサイドビューを楽しめる。8～9月のデジQ列車発売予定ラインナップは以下の通り。

#### 9月19日発売予定

新幹線700系編成セット	2,980円
253系(成田エクスプレス)編成セット	2,980円
205系(山手線)編成セット	2,980円
キハ183系気動車編成セット	2,980円
手動ポイントレールR176-45 (左右各1本)	980円
手動ポイントレールR264-30 (左右各1本)	980円

## デジQ列車・ショップ情報

玩具の楽しさ、模型の精密さをあわせもつデジQ列車は、どこへ行けば手にはいるのか。メーカーが推奨する「デジQ列車が良く揃うお店(のごく一部)」の情報をお知らせする。

ラオックスホビー館 東京都千代田区外神田 1-15-18 ☎03-5298-3581

さくらや新宿ホビー館 東京都新宿区新宿 3-17-17 ☎03-3226-6868 (代表)

秋葉原デパート 東京都千代田区外神田 1-17-15 3階 ☎03-3251-4790

イベント情報 ヤマシロヤ のりものフェア

デジQ列車の楽しさを体験できる

7月30日～8月10日(11:00～17:00)

上野ヤマシロヤにて開催

東京都台東区上野 6-14-6

☎03-3831-2320 (代表)

無限の楽しみ方があるデジQ列車。改造にチャレンジするのも楽しい。写真は参考品のサロンエクスプレス東京と青大将つばめ。

